

20. 1878 次調査報告

遺跡名	武蔵国府関連遺跡		
グリッド	O85-7次		
所在地	東京都府中市白糸台1-66-6		
現地調査期間	令和3年3月17日～令和3年3月19日		
面積	9.1㎡	遺物出土量	なし
検出遺構	なし		
調査担当者	西野善勝		
調査従事者	中條寛・大澤一重(府中市遺跡調査会), 稲垣浩・吉沢賢豪・塚田達也(加藤建設(株))		

1 調査の概要

当調査地区は、武蔵国府関連遺跡の白糸台地域にあたり、京王線多磨霊園駅の北東約210m、西武多摩川線白糸台駅の西約330mに位置する。

本件は、個人住宅建設に伴う調査である。令和3年3月12日に予備調査を実施したところ、遺構覆土の可能性がある不整形の平面プランを検出したため、調査を実施したものである。

予備調査は建築範囲全面を対象に実施したが、不整形の平面プランのほかに遺構とみられるプランは検出されなかったため、本調査は不整形の平面プラン全体を含む約16㎡を対象範囲とした。

本調査は同3月17日より実施した。重機による表土の掘削後、人力にて検出作業を行ったところ、不整形の平面プランは人為的な掘り込みではないことが判明した。遺物は出土していない。

2 まとめ

不整形の平面プランを調査した結果、これは人為的なものではないことが判明した。風倒木などの自然の営力による所産物と考えられる。

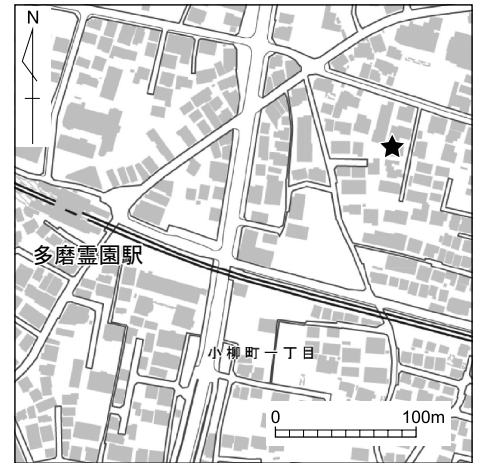
他に遺構及び遺物は検出されなかったことから、記録を取り、調査を終えた。

土層観察表

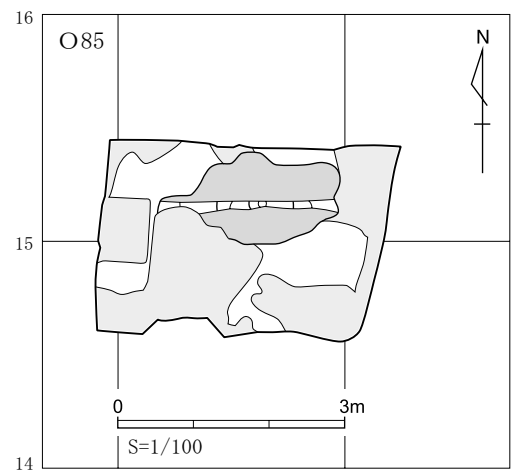
1. 暗褐色土 微～小粒の明褐色土粒を微量、小粒の赤色スコリアを微量含む。
2. 明褐色土 微～小粒の暗褐色土粒を少量、微～極大粒のローム粒を中量、小粒の赤色スコリアを極微量含む。

グリッド	平面形・規模 (cm)	備考
O85(6, 14・15)	不定形, 長軸234×短軸119×深さ53	風倒木?

第1878-4図 平面・断面図

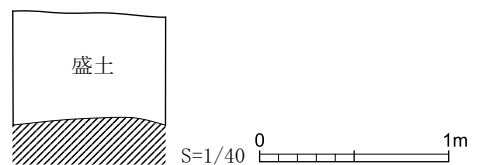


第1878-1図 調査地区位置図 (1/5,000)

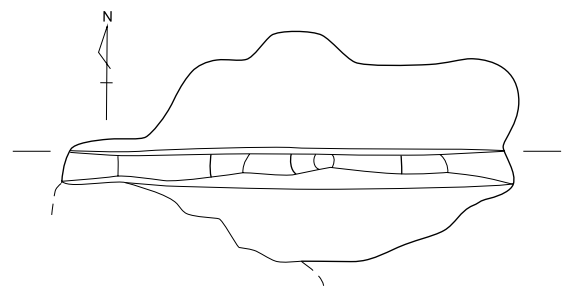


第1878-2図 調査全体図

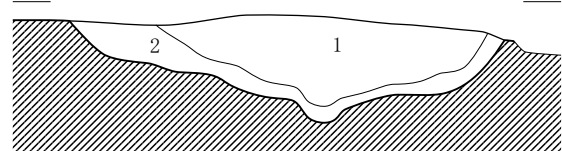
47.30m



第1878-3図 柱状模式図



46.80m



S=1/40 0 1m



第 1878-5 図
調査地区全景（東）



第 1878-6 図
断面（南）



第 1878-7 図
作業風景

